

【ご参考】パッケージで見る「サランラップ®の歴史」

サランラップ®は、20世紀の初頭、アメリカで誕生しました。フィルム製造メーカーの職員の妻サラとアンがピクニックにレタスを包んで持っていったことが食品包装用ラップとして発売するきっかけとなりました。二人の名前をとって「サラン(サラ+アン)ラップ」と名付けられたと言われています。そこで、サランラップ®の歴史をひもとき、今回のリニューアルで6代目となるサランラップ®にはどのようなパッケージがあったのか、ご紹介します。

1960年

日本でサランラップ®の
発売開始



発売当時のサランラップ®の価格

7m巻(一般用)100円、20m巻(徳用)190円
当時の大卒の初任給は13,030円(全国平均)。
当時の100円は今の1,000円よりも高価でした。

1966年

パッケージリニューアル【2代目パッケージ】

1970年

サランラップ® ミニ 発売



1981年

サランラップ® ミニ15 発売



1991年

30cm x 50m、22cm x 50m 発売

- * グッドデザイン商品に認定
- * 地球にやさしいデザイン賞を受賞



1993年

パッケージリニューアル【3代目パッケージ】



1997年

コンパクト50 発売



2004年

パッケージリニューアル【4代目パッケージ】

- * グッドデザイン賞 受賞
- * 日本生理人類学会認定PAデザイン賞 受賞



2008年

パッケージリニューアル【5代目パッケージ】

- * 日本パッケージコンテスト
- * 日用品・雑貨包装部門賞 受賞
- * グッドデザイン賞
- * グッドデザイン・ロングライフデザイン賞 受賞



2014年

パッケージリニューアル【6代目パッケージ】

